令和２年度　秋季（１０月）入学

大学院医学系研究科（博士課程）

学 生 募 集 要 項

国立大学法人
滋 賀 医 科 大 学

目　　次

アドミッション・ポリシー等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

学生募集要項

募集人員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

出願資格

出願手続 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

選抜方法等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

合格者発表

入学手続等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

出願資格審査

個人情報の取扱い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

学内の略図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

入学案内

目的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １０

構成

授業科目及び単位数表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １１

教員の主な研究内容等

履修方法

教育方法の特例 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １２

学位授与

別表１　授業科目及び単位数表・・・・・・・・・・・・・・・ １３

別表２　教員の主な研究内容等・・・・・・・・・・・・・・・ １７

アドミッション・ポリシー等

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

○求める学生像

１．医学・医療・生命科学や、医学と他分野との融合領域において、科学の探究を通して医学医療の進歩･発展に寄与し、社会に貢献したいという意欲を持つ者
２．国際的視野を持ち、世界的に活躍しようという意欲ある者
３．生命に対する尊厳の気持ちを有し、高い倫理観を有する者
４．産官学の広い分野で、疾病克服のためのリーダーとして活躍しようという意欲のある者

○入学者選抜の基本方針

●先端医学研究者コース・高度医療人コース・学際的医療人コース

１．医学・医療・生命科学や、医学と他分野との融合領域に分けて、その基礎知識と思考能力を問う「医学・生命科学一般」の試験を実施する。
２．国際的視野と表現力を問う「外国語（英語）」の試験を実施する。
３．研究意欲、協調性、倫理観等を確認する面接試験を実施する。

●ＮＣＤ疫学リーダーコース

１．非感染性疾患（ＮＣＤ）克服のための基礎知識を問う「小論文」の試験を実施する。
２．国際的視野と表現力を問う「外国語（英語）」の試験を実施する。
３．研究意欲、協調性、倫理観、語学力等を確認する英語による面接試験を実施する。
４．ＮＣＤ克服に関する意欲、経験、語学力を確認する提出書類により評価する。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

１．１専攻４コースとすることで、すべての大学院担当教員による横断的で有機的な教育･研究指導体制とする。また、複数指導教員制とする。
２．先端医学研究者コース・高度医療人コース及び学際的医療人コースには、共通科目と選択科目をおく。
２－１．医学総合特論及びテクニカルセミナーでは、医学研究者として必要な基盤的な専門的知識と研究技術を養成する。
２－２．疫学・医療統計学概論では、医学研究にとって必要な疫学・統計学の知識を養成する。
２－３．基礎と臨床の融合セミナーでは、基礎と臨床の枠を越えた知識と考え方を学ぶ。
２－４．医学生命倫理学概論では、医学倫理、生命倫理、研究倫理についての十分な知識と倫理観を養成する。
２－５．選択科目では、各専門領域の最先端の知識と研究技術を活用して、自立して研究を遂行できる能力を養う。
３．各コース毎に下記の特色あるコース科目を設ける。
３－１．先端医学研究者コースでは、先端的で特色ある研究に触れる機会を設けるとともに、研究倫理の基礎や最先端の研究技法を習得し、自立して研究を遂行できる能力を養成する。
３－２．高度医療人コースでは、臨床研究に重点を置き、医療倫理学や法制学を学び、医療現場でリーダーとして活躍できる能力を育成する。さらに専門医としてふさわしい医療技術を習得させ、専門医の資格取得を支援する。
３－３．学際的医療人コースでは、医学に加え工学や理学等、学際的な知識と研究方法を教授し、産学連携の場で活躍できる能力を養成する。
４．ＮＣＤ疫学リーダーコースでは、非感染性疾患（ＮＣＤ）の疫学・臨床疫学・公衆衛生を習得させ、ＮＣＤ克服のために産官学の分野において国際的に活躍するリーダーを養成する。科目は、コア領域、支援領域及び実習に分類される。実習には、学外でのインターンシップも含まれる。

ディプロマ・ポリシー（課程修了認定・学位授与の方針）

１．医学研究者としての十分な専門的知識と研究技術を持つ。
２．医学倫理、生命倫理、研究倫理についての十分な知識と倫理観を持つ。
３．自立して研究を遂行できる能力を持つ。
４．これに加え、コース毎に下記の能力を有することを修了の要件とする。
４－１．先端医学研究者コースでは、最先端の専門的知識を持ち、産官学におけるリーダーとして国際的に活躍できる。
４－２．高度医療人コースでは、専門医としてふさわしい知識と医療技術を持ち、医療現場でリーダーとして活躍できる。
４－３．学際的医療人コースでは、医学と他分野を融合する学際的知識と研究能力を備えている。
４－４．ＮＣＤ疫学リーダーコースでは、疫学・臨床疫学の研究能力と産官学の分野でリーダーとなる現場力を持ち、英語に習熟し国際人として活躍できる。

学 生 募 集 要 項

募 集 人 員

医学専攻若干名
（社会人入学による者を含む）

先端医学研究者コース
高度医療人コース
（※　がん専門医療人養成コースを含む）
学際的医療人コース
ＮＣＤ疫学リーダーコース

※　「がん専門医療人養成コース」の詳細については、別添の学生募集を参照してください。

（備考）　在職のままで就学を希望する社会人に対して、大学院設置基準第１４条による『教育方法の特例』を適用し、「夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法による」教育を取り入れています。

出 願 資 格

１．大学の医学部医学科、歯学部又は修業年限６年の薬学、獣医学を履修する課程を卒業した者及び令和２年９月までに卒業見込みの者

２．外国において、学校教育における１８年の課程（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。）を修了した者及び令和２年９月までに修了見込みの者

３．外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１８年の課程(医学､歯学､薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。)を修了した者及び令和２年９月までに修了見込みの者

４．我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１８年の課程（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。）を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

５．修士課程を修了した者又は修士の学位を有する者と同等以上の学力がある者で、大学の医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者等昭和３０年４月８日文部省告示第３９号及び平成元年９月１日文部省告示第 118 号により文部科学大臣の指定した者

６．修業年限が６年の大学（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程に限る。）に４年以上在学し、当該大学を卒業していない者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したと本学大学院が認めた者

７．外国において学校教育における１６年の課程（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。）を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１６年の課程（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。）を修了した者、又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１６年の課程（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該

課程を修了した者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したと本学大学院が認めた者

８．本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学（医学、歯学又は修業年限６年の薬学、獣医学を履修する課程に限る。）を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和２年９月３０日において２４歳に達している者

（注）１．**社会人入学を希望できる者は、上記のいずれかに該当する者で、出願時に既に就業しており入学後も引き続き職業を有し、所属長から在職のまま就学することの承諾が得られる者とします。**

２．出願資格５から８のいずれかの出願資格により出願する者は、７ページ「出願資格審査」を参照してください。

出 願 手 続

１．出願期間

令和２年８月３日（月）～７日（金）　消印有効

２．出願書類の提出先及び照会先

〒520-2192　滋賀県大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学　入試課入学試験係　　電話　077-548-2071（直通）

３．出願書類等（※は本学所定の用紙）

書　類　等		備　考
1	入学志願票　※	
2	成績証明書	出身大学（学部）長が作成し、厳封したもの。本学卒業（見込）者は不要です。 なお、大学院修士課程修了（見込）者は、出身大学院（研究科）の長が作成し厳封した成績証明書も併せて提出してください。
3	卒業証明書又は 卒業見込証明書	出身大学（学部）長が作成したもの。本学卒業（見込）者は不要です。 なお、大学院修士課程修了（見込）者は、出身大学院（研究科）の長が作成した修了（見込）証明書のみを提出してください。
4	検定料納付確認書 （巻末に綴込み）　※	入学検定料 30,000 円を、検定料振込用紙（本学所定の用紙・巻末に綴込み）を使用し、令和２年７月２０日（月）から８月７日（金）の期間に銀行で振込んだ後、**収納印を受けた「振込金受領証明書」を貼付してください。**
5	受験票・写真票　※	写真（３か月以内に撮影した正面上半身、無帽、 縦４cm×横３cm のもの）を写真欄に貼付してください。
6	受験票送付用封筒　※	**宛先を記入し、374 円分の切手を貼付してください。**
7	あて名票　※	合格通知を受ける宛先を記入してください。台紙は、はがさないでください。
8	所属長の受験許可書	現に大学院に在学中の者（令和２年９月までに修了見込の者は除く。）及び官公署、医療機関、会社等に在職中の者のみ。（本学に在職中の者は不要です。）（別添様式例参照）

書　類　等		備　　考
9	英語小論文　※	ＮＣＤ疫学リーダーコースを選択した者のみ該当　Form A
10	英語能力評価表　※	ＮＣＤ疫学リーダーコースを選択した者のみ該当　Form B
11	推薦書　※	ＮＣＤ疫学リーダーコースを選択した者のみ該当　Form C 出身大学の教員又は研究所、医療機関等の指導者が作成し、厳封したもの。

（注）１．ＮＣＤ疫学リーダーコースを選択した者は、出願書類の 9～11（Form A～C）を本学インターネットホームページ https://www.shiga-med.ac.jp/admission/graduate/requirements.html からダウンロードし、使用してください。1～8 の書類については、全コース共通です。

２．出願後における記載事項の変更は認めません。また、受理した出願書類は、理由のいかんにかかわらず返還できません。

３．出願資格審査を受ける場合、上記の出願書類等のうち当該審査のための申請書類と重複するものについては、合わせて１通（部）の提出で構いません。

４．出願書類に虚偽の申告をした者については、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

４．出願方法

(1)　郵送の場合

出願書類等を取りまとめ、**本要項添付の所定封筒により『書留・速達郵便』で送付**してください。

(2)　持参の場合

４ページの「出願手続２の提出先」に持参してください。

受付時間は、午前９時から午後５時までです。

５．指導教員との出願前の相談（必須）

志望するコースなどの決定のため、指導を希望する教員（１７～２６ページ参照）と出願前（出願資格審査を受ける者は申請前）に必ず相談をしてください。

その場合、本学の代表電話（電話 077-548-2111）を経由するか、あるいは直接、教員と連絡をとってください。

６．留意事項

(1)　受験票は、８月２６日（水）頃までに、志願者宛に発送します。８月２７日（木）までに到着しない場合は、４ページの「出願手続２の照会先」まで至急連絡してください。

(2)　障害を有する等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある場合は、出願に先立ち４ページの「出願手続２の照会先」まで申し出てください。

(3)　入学検定料返還該当者への返還手続きについて

入学検定料返還の該当者は以下のとおりです。以下に該当しない者は理由のいかんを問わず返還は行いません。該当する者は、４ページの「出願手続２の照会先」へ令和２年８月３１日（月）までに申し出てください。

①　検定料を払い込んだが出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）者

②　検定料を誤って二重に払い込んだ者

選 抜 方 法 等

１．選抜方法

学力検査、面接及び出願書類を総合して選抜します。

なお、社会人入学希望者に対して別途社会人特別選抜は行いません。本試験にて選抜します。

２．学力検査等の日時・項目等

月　　日	時　　間	コース名及び学力検査等	
		先端医学研究者 高度医療人 学際的医療人	ＮＣＤ疫学リーダー
９月３日(木)	１０:００～１１:３０	外 国 語　（英　語）	
	１２:３０～１３:３０	医学・生命科学一般	小　論　文
	１４:００～	面　　接　（個　人）	

（備考）１．学力検査に使用できるのは、黒鉛筆（シャープペンシル可）、鉛筆削り（電動式を除く）、消しゴム、メガネ、時計（計時機能のみ）に限ります。

２．「外国語（英語）」には、辞書（電子辞書類を除く）の持ち込みを許可します。

３．「医学・生命科学一般」の出題範囲等については、別添資料を必ず参照してください。

４．先端医学研究者コース・高度医療人コース及び学際的医療人コースを選択した者で、出願資格６に該当し、認定された志願者は「医学・生命科学一般」に代えて「小論文」とします。

５．先端医学研究者コース・高度医療人コース及び学際的医療人コースを選択した者の面接は、教育者及び研究者となるにふさわしい資質や適性について段階評価を行い、総合判定に加味します。

６．ＮＣＤ疫学リーダーコースを選択した者の面接は、英語で実施し、本コースの学生になるにふさわしい資質や適性等について評価します。

３．場所

滋賀医科大学（９ページの「学内の略図」を参照してください。）

詳細については、受験票送付時に通知します。

合 格 者 発 表

令和２年９月１１日（金）　午前１０時（予定）

入学試験掲示場（９ページの「学内の略図」を参照）及び本学インターネットホームページ（https://www.shiga-med.ac.jp/admission/graduate/result）において合格者の受験番号を発表します。

なお、合否についての電話による問い合わせには一切お答えできません。

入 学 手 続 等

1．日　時

・持参の場合

令和２年９月１７日（木）　午前９時から午後５時まで

ただし、やむを得ない事情により上記指定日に手続ができない場合は、下記２へ上記時間内に連絡のうえ、令和２年９月１８日（金）の午前９時から午後５時までの間に手続を行ってください。

・郵送の場合

令和２年９月１８日（金）　午後５時（必着）

郵送の場合は、令和２年９月１７日（木）午後５時までに下記２へ連絡してください。

2．手続場所（郵送先）

〒520-2192　滋賀県大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学　入試課入学試験係　　電話　077-548-2071（直通）

3．納付金等

(1)　入学料　２８２，０００円

(2)　授業料　２６７，９００円（後期分）

①　後期分の授業料は、本学所定の振込依頼書により令和２年１０月中に納付していただくことになります。

②　授業料が在学中に改定された場合は、改定時から新しい授業料を適用します。

4．納付金の減免等

入学料及び授業料には減免又は徴収猶予の制度があり、これに関する手続等については、合格者に別途通知します。

ただし、予算の都合により、実施されない場合がありますので、学資金の計画を十分にご検討ください。

5．提出書類等

入学手続に必要な書類やその他詳細については、合格通知書を送付する際にお知らせします。

6．留意事項

(1)　入学手続には、受験票が必要ですので、紛失しないように注意してください。

(2)　上記の期限までに入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。

出 願 資 格 審 査

出願資格５から８のいずれかにより出願しようとする場合は、次により出願資格の認定を受けてください。

1．申請書類

(1)　出願資格５の場合は、下記の①から④

(2)　出願資格６、７の場合は、下記の①から⑥

(3)　出願資格８の場合は、下記の①から④及び⑦

①　出願資格認定審査申請書（本学所定の用紙）

②　これからの研究課題及び研究計画（Ａ４判用紙により 1,200 字程度）

③　成績証明書（出身大学(学部)長が作成し、厳封したもの。なお、大学院修士課程修了(見込)者は、出身大学院(研究科)の長が作成し厳封した成績証明書も併せて提出してください。）

④　審査結果通知用封筒：長形３号封筒に住所・氏名を記載し、374 円分の切手を貼付したもの

⑤　推薦書（出身大学（学部）長等が作成したもの。ただし、ＮＣＤ疫学リーダーコースを選択した者については、本学所定の用紙 Form C により作成してください。）

⑥　在学大学の教育課程表（写）及び授業計画書〔シラバス〕（写）

⑦　推薦書（研究所・医療機関等の指導者が作成したもの。ただし、ＮＣＤ疫学リーダーコースを選択した者については、本学所定の用紙 Form C により作成してください。）

２．申請期間

令和２年７月６日（月）～１０日（金）　午後５時（必着）

３．申請書類の提出先

４ページの「出願手続２の提出先」と同じです。

なお、郵送する場合は**『簡易書留郵便』**とし、その封筒の表に**「大学院博士課程出願資格認定審査申請書在中」と朱書き**してください。持参する場合の受付時間は、午前９時から午後５時までです。

４．資格審査

資格審査は、提出された申請書類により行います。ただし、必要に応じ面接を行うことがあり、この場合は、改めて申請者に通知します。

５．審査結果

審査結果の通知は、**令和２年７月３０日（木）**頃までに、申請者宛に発送します。

出願資格「有」と認められた場合は、本要項に定める出願手続（４ページ参照）を行ってください。

個 人 情 報 の 取 扱 い

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報については、次のとおり取り扱いますので、予めご了承ください。

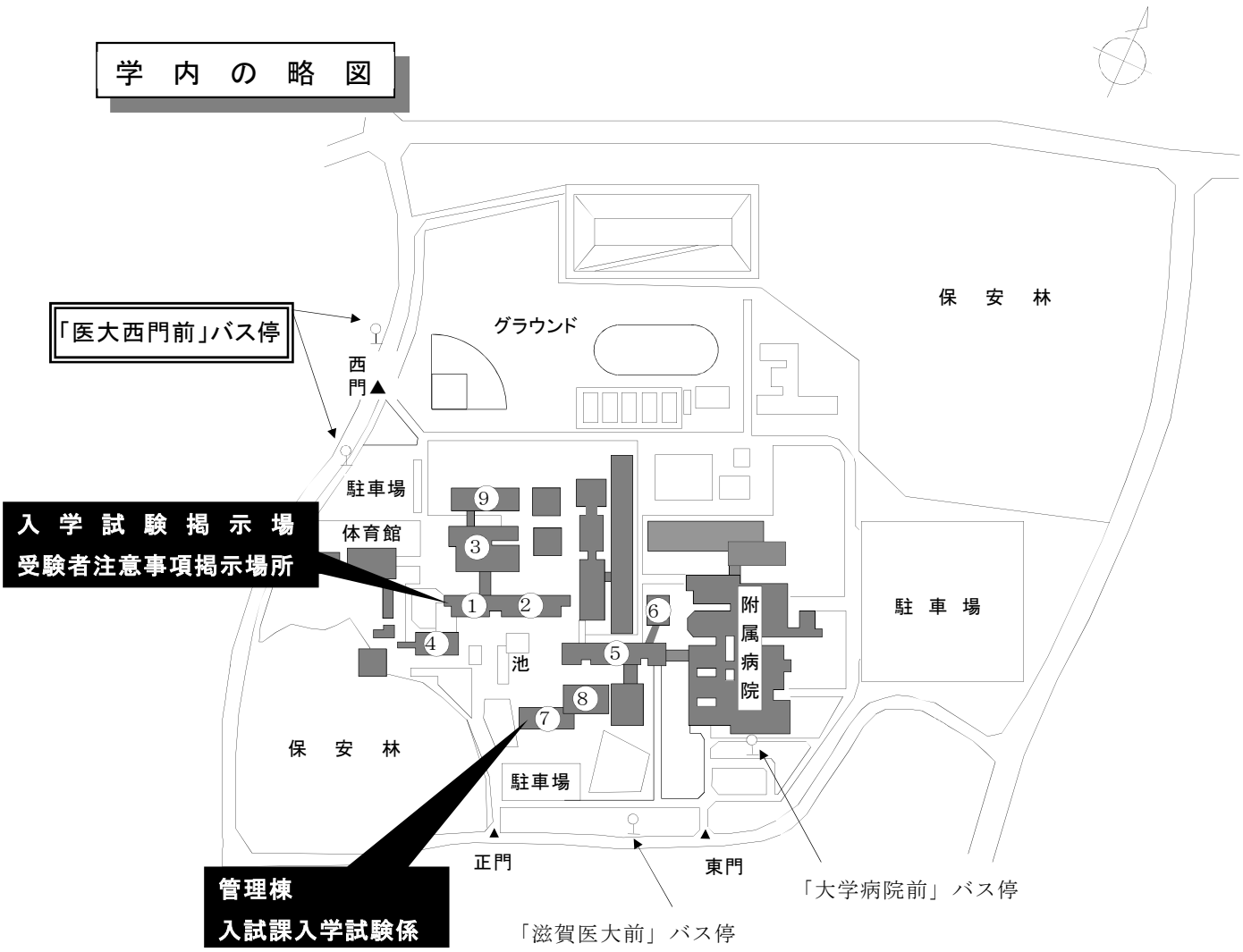
１．個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人滋賀医科大学の保有する個人情報の適切な管理のための措置に関する規程」に基づいて取り扱います。

２．出願書類等に記載された氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。

３．入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料作成のために利用します。

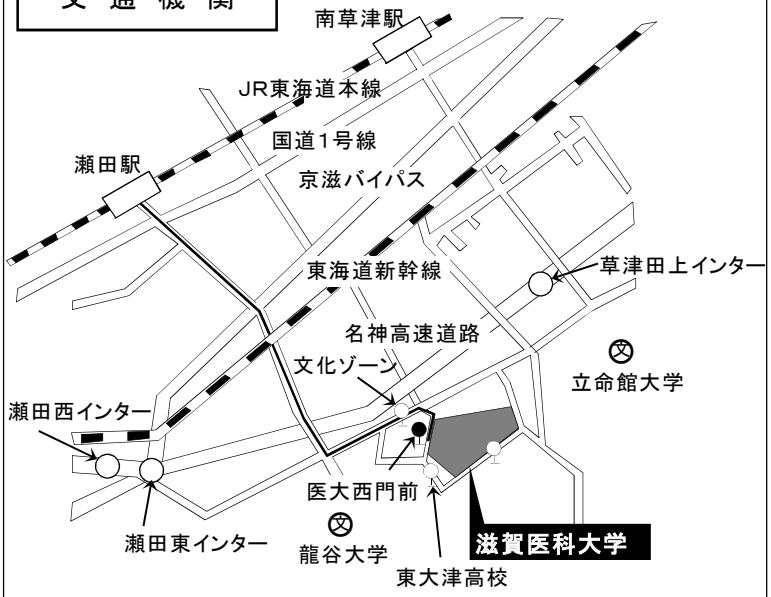
４．出願書類等に記載された個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料減免・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

学 内 の 略 図



① 一 般 教 養 棟
② 基 礎 研 究 棟
③ 基 礎 講 義 実 習 棟
④ 福 利 棟
⑤ 臨 床 研 究 棟
⑥ 臨 床 講 義 棟
⑦ 管理棟・保健管理センター
⑧ 図書館・マルチメディアセンター
⑨ 看 護 学 科 棟

交 通 機 関



●JR東海道本線（琵琶湖線）瀬田駅前から「滋賀医大」行き
路線バス 「医大西門前」下車 （所要時間約 15 分）

入 学 案 内

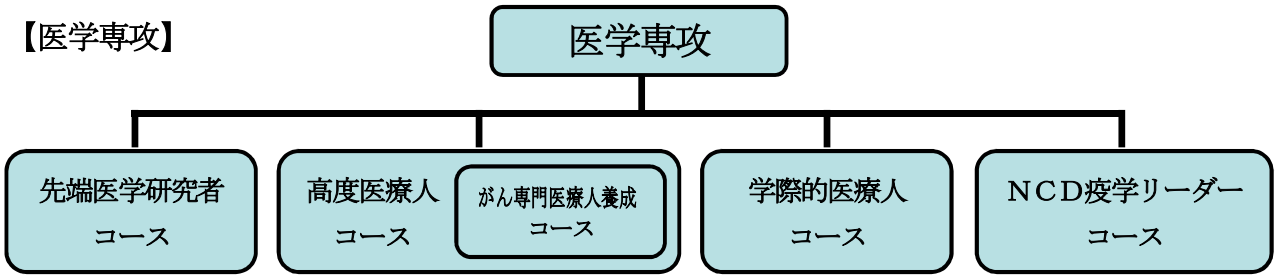
目　　的

大学院医学系研究科（博士課程）は、医学の領域において、研究者として自立して創造的研究活動を行うのに必要な高度の研究能力と、その基礎となる豊かな学識及び人間性を備えた優れた研究者を育成することを目的とし、医学の進歩と社会福祉の向上に寄与することを使命とします。

構　　成

- １専攻、４コースにより編成されています。
- 高度医療人コースに「がん専門医療人養成コース」を設置しています。

【医学専攻】



本専攻では、①豊かな学識と医学全般に渡る幅広い知識を基盤とし、先端的で特色ある研究を遂行できる、医学研究者及び高度医療人　②医学と工学、医学とバイオテクノロジーのような学際的知識と研究能力を兼ね備えた人材③豊かな学識と人間性および高い倫理観を備えた優れた医師および医学研究者の育成を目的として、４つのコースを設けています。

【先端医学研究者コース】

：　基礎医学から臨床医学まで医学の領域に関する医学研究を行い、博士論文を作成して学位の取得を目指します。

①　医学研究者として自立して創造的研究活動を行うのに必要な高度の研究能力とその基盤となる豊かな学識と倫理観および人間性を備えた優れた研究者

②　旺盛なる探求心と創造性を有し、基礎医学から臨床医学まで医学領域の諸問題の解決に挑戦する意欲的な人材の育成

③　国際的に活躍できる最先端の知識と研究能力を有する医師/医学研究者の育成

【高度医療人コース】

：　専門医取得を目指しながら、主として臨床研究を行い、博士論文を作成して学位の取得を目指します。

①　優れた研究能力に加えて高度な臨床技術を兼ね備え、高い倫理観と人間性を有する高度医療人

②　臨床の現場での課題を研究に生かすとともに、研究の成果を臨床医学に生かして、新しい診断法や治療法の開発につなげる医学研究の展開を目指す

③　臨床研究に重点を置くとともに、医療倫理や法制論を学び、医療現場でリーダーとして活躍できる人材を育成

【学際的医療人コース】

：　医学と他分野との融合による新しい学問分野の創成や医療イノベーションに関する研究を行い、博士論文を作成して学位の取得を目指します。医学部以外の出身者に配慮した授業科目を設置しています。

①　医学、工学、バイオテクノロジーなど、従来の学問領域の枠を越えた学際的な知識と高い研究技術を有するとともに医療人として高い倫理観と人間性を兼ね備えた研究者

②　学際的な知識と研究能力によって医学・医療の領域のイノベーションを担う人材

③　基礎医学と臨床医学に関する幅広い知識に加え、学際的な視野と研究能力を有し、大学・企業等の研究所で

活躍できる研究者

【ＮＣＤ疫学リーダーコース】

：　非感染性疾患（Non-Communicable Diseases、NCD）に関する研究を行い、博士論文を作成して学位の取得を目指します。

①　非感染性疾患（ＮＣＤ）に関する医学的知識、疫学方法論、生物統計学の高度な技術、世界の公衆衛生改善に対する構想力を兼ね備えたリーダーの育成

②　英語コミュニケーションに熟達し、論理的議論ができるグローバルリーダーの育成

③　大規模疫学研究、国際共同研究を体験し、一流の研究能力をもつアカデミックリーダーの育成

④　健康関連産業や保健医療行政機関で活躍する現場力をもつリーダーの育成

授業科目及び単位数表

別表１のとおり。

ただし、がん専門医療人養成コースについては、別添の「がん専門医療人養成コース 学生募集」のとおりとします。

教員の主な研究内容等

別表２のとおり。

履　修　方　法

【先端医学研究者コース・高度医療人コース・学際的医療人コース】

１．１年次、２年次、３年次において、共通科目の必修科目１０単位、選択必修科目から４単位、コース科目の必修科目及び選択必修科目から４単位、選択科目から１２単位以上を修得し、合計３０単位以上を履修するものとします。

２．３年次及び４年次においては、指導教員の下で、研究課題に即した研究指導を受けるとともに、自発的な研究活動に専念し、研究者として自立して独創的な研究活動を行うために必要な高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を養います。

３．がん専門医療人養成コースについては、別添の「がん専門医療人養成コース 学生募集」のとおりとします。

【ＮＣＤ疫学リーダーコース】

１．１年次、２年次、３年次、４年次において、コア領域の必修科目から１８単位、支援領域の選択必修科目から２単位、実習の必修科目から８単位、選択科目から２単位以上を修得し、合計３０単位以上を履修するものとします。なお、カリキュラムは変更する場合があります。

２．２年次から指導教員の指示の下、研究課題に即した研究指導を受けるとともに、自発的な研究活動に専念し、研究者として自立して独創的な研究活動を行うために必要な高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を養います。

教育方法の特例

大学院医学系研究科（博士課程）においては、大学院設置基準第14条「教育方法の特例」を適用し、有職者が離職することなく修学し、教育・研究指導を受けることが可能になるよう、昼間だけでなく夜間その他特定の時間又は時期に授業・研究指導を行うよう配慮しています。

学位授与

1．修業年限は４年を標準とします。

2．学位の種類は、博士（医学）とします。

3．学位は、大学院に４年以上在学し、前述の履修方法により３０単位以上を修得、かつ、研究基礎力試験（Qualifying Examination、QE）に合格し、博士論文作成に必要な研究指導を受けたうえ、論文審査及び最終試験に合格した者に授与します。ただし、３年以上在学し、極めて優れた研究業績を上げ、所定の要件を満たした場合には在学期間が４年未満であっても学位を授与することがあります。

別表１

先端医学研究者コース・高度医療人コース・学際的医療人コースの
授業科目及び単位数表

科目区分		授業科目名	年次・単位数				備考
			1年次	2年次	3年次	計	
共通	基礎教育群	医学総合特論	6	6		6	必修
		テクニカルセミナー	2	2		2	
		医学・生命倫理学概論	1	1		1	
		疫学・医療統計学概論	1	1		1	
	基礎と臨床の融合セミナー	基礎と外科学の融合セミナー		2		2	選択必修
		基礎と内科学の融合セミナー		2		2	
		基礎と小児科学の融合セミナー		2		2	
		基礎と老年病学の融合セミナー		2		2	
		基礎と生活習慣病学の融合セミナー		2		2	
		基礎と腫瘍学の融合セミナー		2		2	
コース科目	先端医学研究者コース	パイオニアセミナー	2			2	必修
		先端医学研究技法	2			2	
	高度医療人コース	臨床医学研究総論	2			2	必修
		疫学・医療統計学	1			1	
		医療倫理学法制総論	1			1	
	学際的医療人コース	基礎医学総論	1			1	選択必修
		臨床医学総論	1			1	
		バイオ医療学	1			1	
		ゲノムサイエンス	1			1	
		バイオインファマティクス	1			1	
		イオンチャネル機能解析学	1			1	
		医療イノベーション総論（講義）	1			1	
		医療イノベーション総論（実習）	1			1	

別表１

科目区分		授業科目名	年次・単位数				備考
			1年次	2年次	3年次	計	
選択科目	先端医学研究者コース	医療画像学実習		2	2	4	選択
		核磁気共鳴医学実習		2	2	4	
		細胞生理学実習		2	2	4	
		分子細胞生物学実習		2	2	4	
		遺伝子情報学実習		2	2	4	
		分子神経形態学実習		2	2	4	
		神経科学実習		2	2	4	
		先端法医学実習		2	2	4	
		神経病態学実習		2	2	4	
		分子精神科学実習		2	2	4	
		睡眠精神医学実習		2	2	4	
		視覚病態生理学実習		2	2	4	
		免疫制御学実習		2	2	4	
		内分泌制御学実習		2	2	4	
		生殖生理学実習		2	2	4	
		周産期病態学実習		2	2	4	
		発生工学・制御学実習		2	2	4	
		幹細胞学実習		2	2	4	
		腫瘍医学実習		2	2	4	
		病理学実習		2	2	4	
		実験動物学実習		2	2	4	
		脳機能制御学実習		2	2	4	
		循環器制御学実習		2	2	4	
		プライマリーケア医学実習		2	2	4	
		呼吸器学実習		2	2	4	
		口腔顎機能制御学実習		2	2	4	
		頭頸部制御外科学実習		2	2	4	
		消化器制御学実習		2	2	4	
		皮膚科学実習		2	2	4	
		疼痛治療学実習		2	2	4	
		腎・泌尿器制御学実習		2	2	4	
		分子薬理学実習		2	2	4	
		薬剤学実習		2	2	4	
		疫学研究実習		2	2	4	
		ジェンダー論実習		2	2	4	
		栄養治療学実習		2	2	4	
		再生修復医学実習		2	2	4	
		神経薬理学実習		2	2	4	

別表１

科目区分		授業科目名	年次・単位数				備考
			1年次	2年次	3年次	計	
選択科目	高度医療人コース	臨床法医学実習		2	2	4	選択
		循環器・呼吸器内科学実習		2	2	4	
		消化器・血液内科学実習		2	2	4	
		内分泌代謝・腎臓内科学実習		2	2	4	
		神経内科学実習		2	2	4	
		小児科学実習		2	2	4	
		精神医学実習		2	2	4	
		皮膚科学実習		2	2	4	
		消化器・乳腺・一般外科学実習		2	2	4	
		心臓血管・呼吸器外科学実習		2	2	4	
		整形外科学実習		2	2	4	
		脳神経外科学実習		2	2	4	
		耳鼻咽喉科学実習		2	2	4	
		産科学・婦人科学実習		2	2	4	
		泌尿器科学実習		2	2	4	
		眼科学実習		2	2	4	
		麻酔学実習		2	2	4	
		放射線医学実習		2	2	4	
		家庭医療学実習		2	2	4	
		歯科口腔外科学実習		2	2	4	
		臨床腫瘍学実習		2	2	4	
		臨床検査医学実習		2	2	4	
		救急集中治療医学実習		2	2	4	
		病理診断学実習		2	2	4	
		臨床薬剤学実習		2	2	4	
		先端臨床検査技術実習		2	2	4	
選択科目	学際的医療人コース	生体画像工学実習		2	2	4	選択
		生体情報工学実習		2	2	4	
		産業医学実習（※１）		2	2	4	
		解剖生理学実習		2	2	4	
		再生医学実習		2	2	4	
		生殖機能制御学実習		2	2	4	
		遺伝子工学実習		2	2	4	
		学際的疼痛治療学実習		2	2	4	
		システム生理学実習		2	2	4	
		組織工学実習		2	2	4	
		生体材料学実習		2	2	4	
		医用光工学実習		2	2	4	
		ロボティクス実習		2	2	4	
		人工臓器学実習		2	2	4	
		神経科学研究		2	2	4	
		神経薬理学研究		2	2	4	

※１　令和２年度は開講なし

別表１

ＮＣＤ疫学リーダーコースの授業科目及び単位数表

領域	クラスタ	授業科目名	授業を行う年次	単位数			備考
				講義	演習	実習	
コア領域	公衆衛生クラスタ	公衆衛生学概論	1	2			必修
		保健医療行政論	2	2			
	医学統計クラスタ	疫学研究概論	1	2			必修
		臨床試験概論	1	2			
		生物統計学概論	1	2			
	ＮＣＤ疫学クラスタ	ＮＣＤ疫学総論	1	4			必修
		社会疫学総論	2	2			選択
	国際交流クラスタ	アジア文化・倫理の理解	1		2		必修
		発表技法と熟議	2		2		
支援領域	ＮＣＤ臨床クラスタ	ＮＣＤ臨床総論	1	2			選択必修
	海外技術支援クラスタ	基礎医学から地域医療への展開	2	2			選択必修
		産業医学（※１）	1		1		
実習		研究計画の鍛錬	2			4	必修
		学外研究機関短期研修	2			2	選択
		健康関連産業研修	2			2	
		アジア･フィールドワーク	3			2	
		学外武者修行	3			4	必修

※１　令和２年度は開講なし

別表２

教 員 の 主 な 研 究 内 容 等

（令和２年５月１日 現在）

所属	部門・領域等	職名	氏名	主な研究内容等
生命科学講座	物理学	教授	目　良　　裕	１．ナノ物質、ナノ構造、表面の研究 ２．ナノ光吸収分光法の開発 ３．上記テーマの医学応用
		准教授	成　瀬　延　康	１．ナノ物質や表面、バイオマテリアルの光物性研究 ２．回折法、顕微鏡法、分光法を駆使した材料物性研究 ３．地球環境科学、農業、防災、医療に資する物理研究 ４．科学教育に関する研究
	化学	教授	古　荘　義　雄	１．超分子化学を基盤とする医用材料の開発 ２．新規な遺伝子ベクターおよびDDSの開発 ３．合成化学的手法に基づく核酸医薬の開発
	生物学	教授	平　田　多佳子	１．免疫細胞の生体内移動の分子機構の解析 ２．リンパ球の皮膚・粘膜浸潤機構の解析とその制御法の開発 ３．細胞骨格関連タンパク質による免疫応答制御機構の解明
	数学	准教授	川　北　素　子	１．多数の有理点を持つ代数曲線の研究
医療文化学講座	哲学	教授	室　寺　義　仁	１．ブッダの人生と教え ２．大乗仏教の哲学 ３．生命倫理と医の倫理 ４．アジアの文化と諸宗教
	心理学	准教授	小　島　隆　次	１．空間認知と言語理解 ２．感性情報処理 ３．非言語情報認知
	文化人類学	教授	兼　重　　努	１．中国少数民族の人類学的研究 ２．風水思想の人類学的研究 ３．功徳の観念と積徳行に関する人類学的研究
解剖学講座	生体機能形態学	教授	宇田川　　潤	１．行動における脳内リン脂質の機能の解析 ２．胎児期に調節される脳の栄養取り込み機構の解析 ３．手の構造と把握機能の研究
	神経形態学	教授	勝　山　　裕	１．脳形態形成機構の解析 ２．幹細胞の維持と細胞分化機構の解析 ３．精神疾患モデル動物の解析
		准教授	金　田　勇　人	１．老化にともなう幹細胞および組織の恒常性破綻機構の解析 ２．老年性疾患のバイオマーカーの探索 ３．脳形態形成機構の解析
生理学講座	統合臓器生理学	教授	等　　誠　司	１．神経幹細胞の発生・維持・分化のメカニズム解析 ２．中枢神経系の再生戦略開発 ３．精神疾患の病態解明
		准教授	小　山　な　つ	１．遺伝子改変動物の行動解析 ２．ストレス動物の情動行動の解析 ３．恐怖記憶の消去学習の解析
	細胞機能生理学	准教授	尾　松　万里子	１．生体組織に残存する胎児性細胞の機能解析 ２．細胞内Ca2＋を制御する多様な機構とその統合の解析

別表２

所属	部門・領域等	職名	氏名	主な研究内容等
生化学・分子生物学講座	分子生理化学	教授	縣　保年	１．エピジェネティックな遺伝子発現とがん化の制御機構 ２．染色体高次構造変化による遺伝子発現とがん化の制御機構 ３．iPS 細胞を用いたがん特異的 T 細胞の再生
		准教授	寺田晃士	１．免疫細胞の抗原受容体遺伝子再構成の分子制御機構 ２．免疫細胞の発生を制御する遺伝子の発現調節機構
	分子病態生化学	教授	扇田久和	１．がん、循環器疾患におけるシグナル伝達機構と遺伝子解析 ２．細胞接着の分子機構
		准教授	佐藤　朗	１．がん、炎症性疾患における異細胞間コミュニケーションとシグナル伝達機構 ２．霊長類循環器疾患モデルの作製とその病態解析
	再生・修復医学	教授	小島秀人	１．再生医学 ２．幹細胞を用いた臓器再生 ３．遺伝子治療
		准教授	寺島智也	１．細胞及び臓器標的化による新規分子治療法の開発 ２．骨髄由来細胞のリプログラミングによる再生治療への応用 ３．骨髄由来細胞と神経疾患との関連性
病理学講座	人体病理学	教授	九嶋亮治	１．消化管病理学 ２．腫瘍病理診断学
		准教授	向所賢一	１．動物モデルを用いた胃・食道発癌に関する研究 ２．胆汁酸の発癌及び癌の進展に関する影響 ３．新しい３次元培養システムを用いた癌研究
	疾患制御病態学	教授	伊藤　靖	１．インフルエンザウイルス及び新型コロナウイルスに対するワクチンおよび治療薬の開発 ２．サルモデルを用いた遺伝子病と老化の研究 ３．カニクイザルを用いた免疫反応の研究
	微生物感染症学	教授	後藤　敏	１．パラインフルエンザウイルスの病原性発現機構の研究 ２．ヒトメタニューモウイルスの基礎的研究 ３．ウイルスの免疫回避機構の研究
薬理学講座	－	教授	西　英一郎	１．膜タンパク質細胞外ドメイン切断の分子機構および生物学的役割の解明 ２．転写コレギュレーターによる代謝調節機構の解明 ３．心血管病、がん、炎症性疾患におけるメタロペプチダーゼの役割の解明
		准教授	大野美紀子	１．多機能プロテアーゼによる心拍数制御機構 ２．急性冠症候群における新規バイオマーカーの有用性の検討 ３．巨核球成熟と血小板産生におけるプロテアーゼの役割 ４．アルツハイマー病におけるプロテアーゼの役割
社会医学講座	公衆衛生学	教授	三浦克之	１．循環器疾患・生活習慣病の疫学 ２．循環器疾患・生活習慣病の予防医学 ３．栄養疫学
		准教授	門田　文	１．糖尿病・循環器疾患・生活習慣病の疫学 ２．糖尿病・循環器疾患・生活習慣病の予防医学 ３．潜在性動脈硬化症および認知症に関する疫学研究
	医療統計学	准教授	田中佐智子	１．疾病発生予測モデルの構築 ２．疫学研究デザインと解析手法の開発 ３．薬剤疫学研究
	法医学	教授	一杉正仁	１．交通外傷分析 ２．血栓症突然死の病態解析 ３．外因死の予防医学

別表２

所属	部門・領域等	職名	氏名	主な研究内容等
内科学講座 （内科）	循環器内科	教授	中　川　義　久	１．虚血性心疾患の冠血行再建 ２．動脈硬化性疾患の一次・二次予防 ３．至適抗血栓療法
		講師	山　本　　孝	１．冠動脈疾患・末梢動脈疾患・構造的心疾患に対するカテーテルインターベンション治療の研究 ２．心不全における栄養に関する研究
	呼吸器内科	教授	中　野　恭　幸	１．肺の構造と機能に関する研究 ２．呼吸器疾患における構造と機能に関する研究
		講師	長　尾　大　志	１．難しい内容を分かり易く伝達する手段の研究 ２．モチベーションを高める方法に関する研究
	消化器内科、 血液内科	教授	安　藤　　朗	１．腸管粘膜における免疫応答に関する研究 ２．腸内細菌叢の異常と IBD の病因に関する研究 ３．サイトカインネットワークに関する研究
		准教授	木　藤　克　之	１．骨髄巨核球系細胞動態についての研究 ２．血液悪性疾患の治療に関する研究 ３．骨髄移植術に関する研究
		講師	稲　富　　理	１．膵腫瘍および慢性膵炎における膵線維化に関する研究 ２．ERCP 関連手技における新規デバイス開発
		講師	河　原　真　大	１．造血幹細胞を維持するメカニズムの研究 ２．急性白血病発症メカニズムの解明と新規治療薬開発
	糖尿病内分泌内科、 腎臓内科	教授	前　川　　聡	１．代謝疾患と栄養の研究 ２．インスリン抵抗性発症機構 ３．糖尿病発症関連遺伝子
		准教授	荒　木　信　一	１．糖尿病性腎症の発症機構の解明 ２．糖尿病血管合併症のリスク因子の探索 ３．腎病態栄養学
		講師	卯　木　　智	１．アジポカインの病態的意義の解明 ２．栄養素による代謝調節の分子機構 ３．肥満外科治療による耐糖能改善効果
	脳神経内科	教授	漆　谷　　真	１．筋萎縮性側索硬化症の分子標的治療 ２．神経変性疾患の細胞生物学的解析 ３．神経疾患の非侵襲的診断 ４．脳血管障害の分子病態解析 ５．神経リハビリテーションと脳機能画像解析
		准教授	真　田　　充	１．糖尿病性神経障害の発症機序に関する研究 ２．慢性炎症と末梢神経障害に関する研究
小児科学講座 （小児科）	－	教授	丸　尾　良　浩	１．遺伝性黄疸の分子遺伝学的研究 ２．UDP-グルクロン酸遺伝子多型と薬剤代謝に関する研究 ３．先天性甲状腺機能低下症の分子遺伝学的研究
		准教授	多　賀　　崇	１．小児白血病の新規治療開発に関する臨床研究
		講師	澤　井　俊　宏	１．非典型溶血性尿毒症症候群の診断と治療に関する研究 ２．C3 腎症の発症機構の解明 ３．補体制御異常症に関与する因子の探索
		講師	松　井　克　之	１．小児１型糖尿病の治療効果・療養行動・QOL の関連性についての研究 ２．小児におけるホルモン分泌刺激試験の診断精度に関する研究

別表２

所属	部門・領域等	職名	氏名	主な研究内容等
精神医学講座 （精神科）	－	教授	尾　関　祐　二	１．統合失調症の病因、病態の検討 ２．抗精神病薬治療の循環器への副作用に関する研究
		准教授	藤　井　久彌子	１．統合失調症の病因・病態の研究 ２．不随意運動を伴う精神疾患に関する研究
		講師	松　尾　雅　博	１．認知・注意機能の神経生理学と脳画像 ２．バイオデータと計算機科学に基づく、認知症リスク推定
		講師	吉　村　　篤	１．高齢者の術後せん妄の発症予測に有用な生体指標の探索研究 ２．睡眠障害に起因する社会機能／QOL 障害の実態調査 ３．電気けいれん療法（ECT）に関する多施設共同による後方視観察研究
皮膚科学講座 （皮膚科）	－	准教授	藤　本　徳　毅	１．自己免疫性疾患における抑制性 B 細胞の研究 ２．皮膚悪性腫瘍の治療に関する研究 ３．先天性表皮水疱症の遺伝子治療
		講師	加　藤　　威	１．毛髪疾患の治療に関する研究 ２．皮膚悪性腫瘍の治療に関する研究
		講師	中　西　健　史	１．皮膚潰瘍 ２．アレルギー性皮膚疾患
外科学講座 （外科）	消化器外科、 乳腺・一般外科	教授	谷　　眞　至	１．膵切除術における合併症予防に関する臨床研究 ２．消化器癌に対する免疫療法の開発 ３．膵機能に関する研究 ４．消化器癌転移メカニズムの解明 ５．手術手技に関する介入研究 ６．癌と線維芽細胞との相互作用
		講師	飯　田　洋　也	１．高齢者患者の虚弱性の評価と周術期の介入 ２．肝切除における、蛍光ナビゲーションサージェリーの開発
		講師	三　宅　　亨	１．腫瘍と線維化に関する研究 ２．癌転移に関する研究 ３．大腸における周術期管理に関する研究
	心臓血管外科、 呼吸器外科	教授	鈴　木　友　彰	１．冠動脈バイパスモデルの研究 ２．心臓大血管手術の長期予後の研究 ３．僧帽弁形成の術式および長期予後の研究 ４．急性大動脈手術の研究および長期予後の研究
		准教授	花　岡　　淳	１．胸部疾患に対する胸腔鏡下低侵襲手術 ２．肺癌に対する手術法の研究 ３．呼吸器外科手術におけるダビンチ手術 ４．肺葉間・区域間作成方法の研究 ５．動的Ｘ線装置を用いた肺排切除前後の肺機能の評価
		講師	木　下　　武	１．冠動脈バイパス手術に使用する血管グラフトの内皮機能に関する研究 ２．僧帽弁形態の三次元的定量的動態解析に基づいた僧帽弁形成術の研究

別表２

所属	部門・領域等	職名	氏名	主な研究内容等
整形外科学講座 （整形外科）	－	教授	今　井　晋　二	１．鏡視下肩関節手術の臨床成績向上に関する研究 ２．人工肩関節置換術の臨床成績向上に関する研究 ３．軟骨損傷と脊髄損傷に対する再生医療学的研究
		准教授	森　　幹　士	１．脊柱靱帯骨化症の病態と治療に関する研究 ２．脊椎・脊髄の診断と治療に関する研究 ３．骨代謝に関する研究
		講師	久　保　充　彦	１．人工膝関節全置換術の臨床成績の向上に関する研究 ２．人工膝関節全置換術の kinematics に関する研究 ３．軟骨修復に関する基礎・臨床研究 ４．変形性膝関節症の疼痛に関する臨床研究
		講師	彌　山　峰　史	１．脊柱靱帯骨化の骨化形成メカニズムの解析 ２．靭帯肥厚の病態解析
脳神経外科学講座 （脳神経外科）	－	教授	野　﨑　和　彦	１．脳虚血の病態と治療に関する研究 ２．脳動脈瘤の病態と治療に関する研究 ３．脳動静脈奇形の病態と治療に関する研究
		講師	深　見　忠　輝	１．神経膠腫に対する集学的治療法の研究 ２．覚醒下手術の安全性及び危険性に関する研究 ３．内視鏡下手術による治療の適応に関する研究
		講師	辻　　篤　司	１．虚血性脳血管障害の病態生理と治療法の開発 ２．脳血管内治療法の開発 ３．脳循環代謝の研究
耳鼻咽喉科学講座 （耳鼻咽喉科）	－	教授	清　水　猛　史	１．上気道炎症の病態とその制御 ２．病態気道における粘液産生と分泌 ３．上気道の免疫・アレルギー
		准教授	大　脇　成　広	１．音声障害に対する診断と治療 ２．頭頸部癌の診断と治療
		講師	神　前　英　明	１．上皮細胞による気道アレルギー疾患誘導のメカニズムとその制御 ２．好酸球性副鼻腔炎の病態解明 ３．スギ花粉症の病態解明
		講師	戸　嶋　一　郎	１．上気道における好酸球炎症の研究 ２．アレルギー性鼻炎の病態解明 ３．気道上皮における粘液産生とその制御
産科学婦人科学講座 （母子診療科、 女性診療科）	－	教授	村　上　　節	１．産婦人科低侵襲手術（子宮鏡・腹腔鏡・ロボット手術） ２．子宮内膜症・子宮腺筋症 ３．生殖内分泌学・不妊症
		准教授	木　村　文　則	１．原始卵胞活性化の制御 ２．癌化学療法時における卵巣機能保持 ３．子宮内膜症、子宮腺筋症の発生機構の解明 ４．慢性子宮内膜炎の病態解明
		講師	辻　　俊一郎	１．帝王切開瘢痕症候群の病態解明と治療法の開発 ２．新生児 HIE モデルマウスを使用した治療の開発 ３．子宮内膜症に関する研究 ４．精神疾患合併妊娠に対する臨床研究
		講師	笠　原　恭　子	１．女性医学 ２．女性の骨粗鬆症

別表２

所属	部門・領域等	職名	氏名	主な研究内容等
泌尿器科学講座 （泌尿器科）	－	教授	河　内　明　宏	１．ロボティクスサージェリーに関する研究 ２．低侵襲療法の開発に関する研究 ３．新しいイメージングモダリティの開発に関する研究
		准教授	成　田　充　弘	１．泌尿器腹腔鏡下手術に関する研究 ２．前立腺癌治療と QOL に関する研究 ３．ロボット支援手術に関する研究
		講師	上　仁　数　義	１．小児泌尿器科手術（形成手術、腹腔鏡手術に関する研究） ２．小児排尿障害に関する研究 ３．小児泌尿器領域における MRI 画像診断の応用
		講師	影　山　　進	１．尿路上皮癌の特異分子に関する研究 ２．泌尿器癌に対する新規抗癌剤の創薬 ３．泌尿器癌のプロテオミクス研究
眼科学講座 （眼科）	－	教授	大　路　正　人	１．網膜硝子体疾患の病態解明と外科的治療の開発 ２．眼内サイトカインに関する研究 ３．未熟児網膜症モデルマウスを用いた網膜症の解析
		准教授	西　信　良　嗣	１．網膜の分子生物学 ２．眼内薬物治療
		講師	澤　田　　修	１．硝子体内薬物動態の研究 ２．糖尿病黄斑浮腫に関する研究
		講師	柿　木　雅　志	１．硝子体内薬物動態・サイトカイン動態の研究 ２．カニクイザルを用いた眼内薬物動態・サイトカイン動態の研究 ３．硝子体手術に関する新しい手術方法の研究
麻酔学講座 （麻酔科、 ペインクリニック科）	－	教授	北　川　裕　利	１．心筋虚血再灌流傷害モニタリング法の開発 ２．麻酔・麻薬による心保護作用の解明
		講師	瀬　戸　倫　義	１．分子間相互作用レベルでの麻酔メカニズムの解明 ２．吸入麻酔薬によるイオンチャネルの疎水性脱水和過程の解明 ３．イオンチャネルにおける光学異性麻酔薬の分子認識 ４．機能タンパク質の D2O による水和修飾の医学応用
		講師	福　井　　聖	１．慢性疼痛の MR スペクトロスコピーによる脳機能画像評価 ２．慢性疼痛の VBM による局所脳形態変化 ３．慢性疼痛に対する学際的治療 ４．痛みの低侵襲治療法の開発－パルス高周波法－ ５．慢性疼痛の rstMRI による脳機能評価
		講師	小　嶋　亜希子	１．Ca2+輸送タンパク質に着目した、麻酔薬の心筋保護メカニズムにおける分子基盤の解明 ２．麻酔薬による心臓ペースメーカー機能に対する修飾作用の研究 ３．麻酔薬とイオンチャネルとの相互作用における電気生理学的、分子生物学的解析 ４．不整脈発生に関わるイオン機序に対する麻酔薬の修飾作用の研究

別表２

所属	部門・領域等	職名	氏名	主な研究内容等
放射線医学講座（放射線科、放射線部）	－	教授	渡　邉　嘉　之	１．CT、MRI を用いた神経疾患の病態解明、機能情報の画像下の研究 ２．人工知能の画像診断への応用 ３．MRI を用いた生体内の流れの研究
		講師	大　田　信　一	１．臨床応用するための IVR の基礎研究 ２．腹部画像診断法の研究
		講師	園　田　明　永	１．動態 X 戦解析を用いた拘束性肺障害、閉塞性肺障害における深呼吸時の気道径の評価 ２．動態 X 戦解析を用いた拘束性肺障害、閉塞性肺障害における深呼吸時の肺野濃度の評価 ３．腎動脈周囲神経叢へのボツリヌス毒素を用いた高血圧治療方法の開発
		講師	井　藤　隆　太	１．磁気共鳴法を利用した脳形態情報及び機能情報画像化の研究
歯科口腔外科学講座（歯科口腔外科）	－	教授	山　本　　学	１．骨芽細胞の再生に関する研究 ２．口腔腫瘍の病態と治療 ３．顎骨と口腔の再建に関する研究 ４．口腔内細菌叢に関する研究 ５．睡眠時無呼吸症候群に関する研究
		講師	家　森　正　志	１．口腔癌治療に関する研究 ２．顎変形症および口蓋裂治療に関する研究 ３．骨吸収抑制剤関連顎骨壊死に関する研究 ４．睡眠時無呼吸症候群に関する研究 ５．歯周病に関する研究 ６．インプラント治療に関する研究
臨床検査医学講座（検査部）	－	准教授	茶　野　徳　宏	１．遺伝子診断の臨床適用 ２．新規分子 RBICCI の生物学的機能の解析 ３．がん特異的バイオマーカーを用いた診断と治療の開発 ４．RAB39A を標的とする分子創薬
病理部	－	准教授	森　谷　鈴　子	１．病理診断学 ２．乳腺・婦人科病理
救急集中治療医学講座（救急集中治療部、総合診療部）	－	教授	江　口　　豊	１．敗血症性多臓器不全における凝固線溶系に関する血管内皮細胞機能の分子生物学的解析とその制御 ２．侵襲下でのメディエータの動態と急性血液浄化による制御法の開発と臨床応用 ３．心脈系疾患におけるプロスタグランジン D 合成酵素の分子病態学的解析と治療への応用
		講師	田　畑　貴　久	１．敗血症における生体反応メカニズムの研究 ２．多発外傷の診断、治療に関する研究
		講師	辻　田　靖　之	１．過大侵襲時の心機能障害と不整脈に関する研究 ２．敗血症の臓器障害に関する研究 ３．心臓・血管原性ショックの疫学研究
		講師	松　下　美季子	１．一次／二次救命処置のトレーニング法の工夫 ２．本邦における総合診療医のあり方と育成について ３．救命外来患者来院における社会的／環境因子の解析

別表２

所属	部門・領域等	職名	氏名	主な研究内容等
臨床腫瘍学講座 （腫瘍センター）	－	教授	醍　醐　弥太郎	１．新規がん関連遺伝子の同定と機能解析による発がん機構の解明 ２．ゲノミクス、プロテオミクス解析による体系的がん進展機構の解明 ３．がんの新規分子標的治療薬（低分子・抗体・核酸医薬）、がんペプチドワクチンおよび免疫制御薬の開発とトランスレ―ショナルリサーチ ４．がんの個別化医療に向けたバイオマーカーと分子病態診断システムの開発とトランスレ―ショナルリサーチ
		講師	村　田　　聡	１．消化器癌手術後の転移機序の解析と治療法の開発 ２．消化器癌周術期における癌微小環境の制御 ３．固形がんに対する免疫細胞治療法の開発
総合内科学講座	－	教授	杉　本　俊　郎	１．内科診断学 ２．地域医療 ３．水・電解質異常の基礎と臨床 ４．ICT を用いた医学教育方法の開発
		准教授	大　西　正　人	１．慢性心不全の病態生理と治療 ２．プライマリケアにおける高血圧の診断と治療 ３．シミュレーション医学教育
		准教授	伊　藤　明　彦	１．内視鏡的胃瘻造設術の手技と管理 ２．経腸栄養の適応と合併症 ３．NST（栄養サポートチーム）活動と多職種連携
		講師	前　野　恭　宏	１．糖尿病の地域医療連携効率化に関する研究 ２．糖尿病患者教育と予防教育の効率的な方法に関する研究
		講師	和　田　　広	１．呼吸器内科診療における地域連携効率化に関する研究 ２．閉塞性肺疾患の臨床
総合外科学講座	－	教授	目　片　英　治	１．大腸癌の集学的治療 ２．樹脂製手術器具の開発 ３．抗癌剤感受性試験 ４．腫瘍学（病態・治療・地域連携）
		講師	太　田　裕　之	１．大腸癌の集学的治療 ２．術後合併症に関する臨床研究 ３．樹脂製手術器具の開発
		講師	赤　堀　浩　也	１．消化器外科侵襲学に関する研修 ２．マイクロ波手術デバイスの開発 ３．膵切除術に関する臨床研究
		講師	北　村　直　美	１．新しいエンドトキシン測定法の開発 ２．腹腔鏡下胆のう摘出術に対する術後鎮痛
形成外科学講座	－	講師	岡　野　純　子	１．糖尿病難治性皮膚壊疽潰瘍に対する骨髄細胞を用いた新規治療法の開発 ２．皮膚恒常性維持（ホメオスタシス）にかかわる骨髄由来細胞の分子機構の解明
血液浄化部	－	講師	金　崎　雅　美	１．血液浄化療法学 ２．糖尿病性腎症の発症および進展機構の解明
輸血部	－	講師	南　口　仁　志	１．造血幹細胞の特性解明 ２．白血病幹細胞の特性解明
栄養治療部	－	講師	馬　場　重　樹	１．間接熱量測定を用いた必要エネルギー量に関する研究 ２．サイトカインとエネルギー代謝に関する研究 ３．炎症性腸疾患の栄養療法に関する研究
医療情報部	－	准教授	杉　本　喜　久	１．医用電子工学 ２．医療情報システム ３．循環器系の生体工学

別表２

所属	部門・領域等	職名	氏名	主な研究内容等
薬剤部	－	教授	寺　田　智　祐	１．個別化薬物療法の開発に関する研究 ２．薬物トランスポータの臨床薬理学的研究
		准教授	森　田　真　也	１．脂質トランスポーターおよび脂質代謝に関する研究 ２．脂質分析法の開発
医療安全管理部	－	教授	清　水　智　治	１．外科侵襲学に関する研究 ２．新しいエンドトキシン測定法の開発 ３．大腸癌・炎症性腸疾患の治療に関する研究
		講師	萬　代　良　一	１．院内救急対応システム
リハビリテーション部	－	准教授	児　玉　成　人	１．　悪性骨・軟部腫瘍の病態と治療に関する研究 ２．　整形外科再建手術におけるマイクロサージャリーによるアプローチ ３．　突発性前・後骨間神経の病態と治療に関する研究
臨床研究開発センター	－	教授	久津見　　弘	１．レギュラトリーサイエンス ２．新規医療開発 ３．消化器内視鏡
		講師	倉　田　真由美	１．生体臓器移植に対する認識調査―インターネット調査による一般市民の自由記述回答の分析 ２．インターネットを活用した研究参加希望者支援システムの構築 ３．改正臓器移植法における親族優先提供をめぐる議論の批判的検討
医師臨床教育センター	－	准教授	川　崎　　拓	１．人工関節手術に関する研究 ２．リウマチ性疾患の疫学調査 ３．運動器リハビリテーションに関する研究
神経難病研究センター	基礎－ 分子神経病理学	教授	西　村　正　樹	１．アルツハイマー病と脳老化の分子病態解明 ２．アルツハイマー病の創薬標的の開拓と解析 ３．神経変性疾患のリスク制御による予防的医療の実現に向けた研究
	橋渡し－ 国際共同研究	特任教授	Walker Douglas Gordon	１．転写因子 EB（TFEB）の解析：リソソームとオートファジー機能に関わる転写因子 EB（TFEB）と AD と PD で見られる異常タンパク蓄積との関連 ２．ヒト由来の神経系培養細胞を用いた抗炎症リガンド CD200 機構の解明 ３．P2RY12 と CD105 をマーカーに用いた病的と恒常的なミクログリア分類 ４．AD における神経炎症で O-GlcNAc 修飾タンパクの役割解明 ５．AD 研究用の 3 次元細胞培養手法の開発
	橋渡し－ 神経診断治療学	准教授	柳　沢　大治郎	１．フッ素 MRI によるアルツハイマー病の画像診断法の開発 ２．アルツハイマー病の発症機序の解明および治療標的の探索 ３．神経変性疾患の診断・治療法の開発
	基礎－創薬研究	特任准教授	森　　雅　樹	１．小児特性を活用した小児難病の治療 ２．脳機能再生を目指した神経科学 ３．遺伝子疾患の再生医療学（遺伝子治療および細胞治療） ４．３次元形成モデリングによる臓器サイズ規定機構の解明 ５．バイオインフォマティクス
	基礎－ MR 医学研究	准教授	椎　野　顯　彦	１．分子標的薬の開発 ２．脳 MR 画像診断のためのプログラム開発 ３．MR スペクトロスコピー ４．神経病変の診断と診療研究

別表２

所属	部門・領域等	職名	氏名	主な研究内容等
動物生命科学研究センター	－	教授	依　馬　正　次	１．サル ES／iPS 細胞に関する研究 ２．遺伝子組換えカニクイザルを用いたヒト疾患研究 ３．マウス ES／iPS 細胞に関する研究 ４．血管新生の分子機構
保健管理センター	－	講師	小　川　惠美子	１．慢性閉塞性肺疾患（COPD）の病態解明 ２．COPD コホート集団データを用いた臨床研究
情報総合センター	－	教授	芦　原　貴　司	１．コンピュータシミュレーションによる不整脈治療の開発 ２．難治性心房細動アブレーション医療機器と新術式の開発 ３．生体医工学・*in silico*・人工知能等による循環器病態解明 ４．ヒト iPS 心筋細胞シートの循環器病治療・創薬への応用
		准教授	本　山　一　隆	１．恒星の形成過程の研究 ２．星間ガスの進化の研究 ３．ハイパフォーマンス コンピューティング
医学・看護学教育センター	－	教授	伊　藤　俊　之	１．医学教育学
睡眠行動医学講座（寄附講座）	－	特任教授	角　谷　　寛	１．睡眠医学の臨床研究 ２．睡眠とメンタルヘルスの疫学研究（ゲノム疫学を含む） ３．産学共同による機器・ソフトウェアの開発・検証
革新的医療機器・システム研究開発講座（寄附講座）	－	特任教授	谷　　徹	１．次世代医療システム ２．ロボットによるナビゲーション外科手術 ３．外科低侵襲手術 ４．マイクロ波手術デバイス ５．悪性腫瘍温熱化学療法
地域医療教育研究拠点	－	准教授	梅　田　朋　子	１．乳癌の浸潤転移と線溶系および接着因子 ２．乳癌浸潤範囲の MRI マッピング ３．乳癌術前化学療法の細胞性免疫に対する効果
		准教授	中　島　滋　美	１．地域医療に関すること ２．総合診療および総合内科に関すること ３．消化器疾患、とくに上部消化管疾患と機能性消化管障害 ４．健診および検診、とくに胃癌検診
		准教授	川　合　寛　道	１．糖尿病神経障害の発症機構と TNF ２．ミトコンドリア脳筋症の病態解明 ３．ALS の遺伝子治療

検定料振込用紙等

※１　下切り取り以下の用紙により、令和２年７月２０日（月）から８月７日（金）の期間に振り込んでください。

２　右の台紙に「振込金受領証明書」を貼り付けたものを関係書類と共に送付してください。

検定料納付確認書

この枠内に振り込み後の「振込金受領証明書」を貼り付けてください。

C

振込金受領証明書
（大学提出用）

金　額 ￥３０，０００－
受取人 **滋賀医科大学**
（フリガナ） 志願者氏名

取扱銀行収納印

1

A

振込金（兼手数料）受領書
（本人保存）

依頼日	年　月　日	
金　額	￥３０，０００－	
先方銀行	滋賀銀行・瀬田駅前支店	
	関西みらい銀行・草津南支店	
	三菱ＵＦＪ銀行・草津支店	
受取人	滋賀医科大学	
志願者氏名（フリガナ）		
消費税込手数料		円

上記の金額正に受取りました。

銀行

支店

取扱銀行収納印

2

印紙

B

電信扱

振込依頼書
（取扱店保存）

手数料ご依頼人負担

科目	

○印を付し必ず電信送金してください。（右記取りまとめ銀行のうち一つを選び）

依頼日	年　月　日	振込指定	
先方銀行		預金種目	口座番号
	滋賀銀行・瀬田駅前支店	普通	0146970
	関西みらい銀行・草津南支店	普通	0514443
	三菱ＵＦＪ銀行・草津支店	普通	1102147
受取人	シカ゛イカタ゛イカ゛ク		
	滋賀医科大学		
ご依頼人	志願者氏名（フリガナ）：もれのないよう打電してください。		
	氏名（漢字）		
	住所　〒 TEL		

電信扱	消費税込手数料	円
金　額	￥３０，０００－	
内訳	現金	
	当手　枚	
	他手　枚	

金種内訳				
10,000	0	000	100	00
5,000		000	50	0
2,000		000	10	0
1,000		000	合計	
500		00	つり銭	

取扱銀行収納印

3

◎取扱銀行へのお願い
①太線内を必ず打電してください。
②金額の訂正はできません。
③収納印は１・２・３にもれなく正確に押印し、Ａ・Ｃ票は必ず依頼人にお返しください。
④滋賀銀行以外の銀行・信用金庫から振り込まれる場合は手数料が必要です。
⑤本振込依頼書は、令和２年８月８日以降は取り扱わないでください。

入学者選抜等に関する照会先

滋賀医科大学　入試課入学試験係
〒520-2192　滋賀県大津市瀬田月輪町
ＴＥＬ　077-548-2071
E-mail　hqnyushi@belle.shiga-med.ac.jp
https://www.shiga-med.ac.jp/